

若者向け福祉・介護の仕事PR冊子について(案)

資料5

1. PR冊子の概要

【制作目的】

福祉・介護事業所への若者の参入を促すため、福祉・介護の仕事の魅力を発信する。特に、進路選択を意識し始める**中学生をメインターゲット**として冊子を作成する。

【配布対象等】

対象 主に中学生、高校生等の**進路選択を考えている若者**
 部数 40,000部
 配布先 中学、高校、関係機関
 仕様 B5サイズ 16Pフルカラー

2. ワーキンググループによる活動状況

県、事業所、福祉人材センター等の職員で編集作業を実施
 会議開催実績 ①H28. 7. 1、②H28. 7. 25
 その他、メーリングリストにより随時、意見交換を実施
※編集会議において、構成案を作成

【ワーキンググループ構成員】

氏名	所属等
青木幸子氏	奈良県福祉人材センター 主査
玖島貴宏氏	奈良県介護福祉士会副会長 (奈良県福祉・介護人材確保協議会委員)
辻村泰聡氏	社会福祉法人宝山寺福祉事業団 極楽坊保育園事務長
仲村栄志氏	社会福祉法人 協同福祉会 あすなら苑 経理総務部 総務・教育課 課長
安井妃世氏	ウェルコンサル株式会社 教育マネージャー
染川知之、林誠人	奈良県事務局

3. 構成案

(1)中学生の事業所体験記

計8ページ



現役の中学生が事業所を訪問。写真や感想等を掲載し、同世代の生徒の体験を通じて福祉・介護事業所を身近に感じてもらう。

編集

案：県立青翔中学校等の現役の生徒が、高齢、障害、保育の事業所を訪問。仕事体験だけでなく、中学生が記者として若手職員の方へインタビュー。中学生目線の誌面とする。

(2)進路選択を考えている若者へ先輩からメッセージ

計2ページ



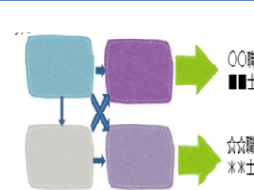
現役の大学生や高校生等から、進路選択をしたきっかけ、今後の希望、目標等を語り、進路選択を考えている後輩へ呼びかける。

編集

案：奈良佐保短期大学、県立榛生昇陽高等学校の学生にインタビュー

(3)資格情報等をフローチャートで楽しく紹介

計2ページ



向いている職種や資格をフローチャートで紹介

編集

案：中学生が対象であり、誌面に遊び心を取り入れ、飽きさせないようにする。

(4)関連情報紹介

計2ページ

- ①進学先(高校、大学、養成校)や資格情報等を紹介
- ②若年世代の保護者へのメッセージ等